

公益財団法人慶長遣欧使節船協会

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡ補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 8 年 5 月 25 日	市所管部署	石巻市 産業部観光政策課
-------	-----------------	-------	--------------

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会	設立目的・経過 慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与すること。
法人所在地	石巻市 渡波字大森 30 番地 2	
設立年月日	平成 4 年 1 月 22 日	
代表者職・氏名	代表理事 一力 雅彦	

3 定款上の事業内容

(1) 慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
(2) 慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
(3) 船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
(4) 海事思想の普及・啓蒙
(5) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外 の出資・出捐者	市以外 の者の 出資・出捐額	市以外 の者の 出資・出捐割合
1,000,000 千円	500,000 千円	50.0 %	宮城県	500,000 千円	50.0 %
				千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R5期末	R6期末	R7期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	11	11	11
うち市職員	2	2	2
うち市退職者	0	0	0
計	12	12	12
うち市職員	2	2	2
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員の状況

	R5期末	R6期末	R7期末
常勤	10	10	10
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	3	7	8
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	13	17	18
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供する事により、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する事を目的とする。
①慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
②慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
③船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
④海事思想の普及・啓蒙
⑤宮城県の指定を受けて行う慶長使節船ミュージアムの管理運営
⑥石巻市の指定を受けて行うサン・ファン・パウティスタパークの管理運営
⑦その他この法人の目的を達成するため必要な事業

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
慶長使節船ミュージアム入館料	円	目標計画	5,648,000	20,595,000	20,925,000	21,254,000	21,584,000
		実績	3,517,500	8,204,800			
目標・指標の説明			入館料（高校生以下無料）収入				
目標未達の場合の要因分析			令和7年度は通年開館となったが、リニューアルオープンの告知等が浸透せず入館者収入が未達に終わった。				

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
慶長使節船ミュージアム入館者	人	目標計画	17,272	63,000	64,000	65,000	66,000
		実績	10,706	28,713			
目標・指標の説明			全入館者（有料・無料）の設定				
目標未達の場合の要因分析			令和7年度は通年開館となったが、リニューアルオープンの告知等が浸透せず入館者数が未達に終わった。				

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①第32回サン・ファン祭り ②各種パークイベント ③サン・ファン絵画コンクール2025	①サン・ファン祭り実行委員会が主催するサン・ファン祭りに約12,000人の来場者があった。 ②サン・ファン祭りや渡波市民夏祭りなどのイベントが開催され約15,000人の来場者があった。 ③小中学生を対象に実施したところ、125点の応募があった。	「サン・ファン祭り」や「渡波市民夏祭り」などのイベントに会場としてサン・ファンパークを貸し出し、多くの来場者に慶長使節の意義と県民共有の財産である復元船のPRに務めた。	前々期の事業については、リニューアル工事期間中の実施であったことから、集客が落ち込んでいたが、令和7年度は工事完了に伴い通常どおりの営業体制となったことから、集客は大幅に増加した。
事業の公共性、公益性	徳川幕府との協力体制をとりながら果たした慶長遣欧使節派遣の意義を顕彰することは、ふるさと宮城、そして石巻における歴史的価値を高め、子ども達のみならず、県民、市民全体のふるさと意識の高揚につながり、地域振興の一助となるものである。		

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①「映画のなかの復元船 ～映画『レジェンド&バタフライ』の現場から～」の開催 ②支倉常長ローマ教皇謁見410周年記念シンポジウムの開催 ③リニューアルオープン1周年記念イベントを実施	①映画で使用された衣装・小道具等を展示。映画を上映し約230人の来館者があった。 ②慶長使節・支倉常長によるローマ教皇謁見から410周年を記念して研究者等を招いて開催し約320人の参加者があった。 ③リニューアルオープン1周年を記念しワークショップや展示解説等の関連企画を実施し約421人の参加者があった。	リニューアル工事後の開館により各種事業の展開や積極的な広報活動、多言語化への対応等、来館者の利便性の向上も視野に入れた整備と対応により、28,713人の入館者があった。 今後は、入館者数を増加させるために、積極的な事業展開や周知活動を充実させていく必要がある。	リニューアル工事後の開館となり各種企画展・講演会・シンポジウム・体験学習等の開催により入館者数が増加した。
事業の公共性、公益性	戦国時代から幕府による統治に移行する平和的な社会体制に変化する中で、伊達政宗の先進的な領国経営の視点を支倉常長の偉業とともに広くアピールすることにより、歴史観光の拠点として地域の振興と活性化に寄与するもの。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
------	-----------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B／S）	借方（科目）	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	流動資産	96,617,412	108,078,766	11,461,354	92,446,811	▲ 15,631,955
	うち 現金・預金	96,294,626	106,758,520	10,463,894	74,429,031	▲ 32,329,489
	固定資産	1,038,008,406	958,964,731	▲ 79,043,675	872,827,179	▲ 86,137,552
	(1) 基本財産	1,031,958,700	952,498,100	▲ 79,460,600	865,158,300	▲ 87,339,800
	(2) 特定資産	0	0	0	0	0
	(3) その他の固定資産	6,049,706	6,466,631	416,925	7,668,879	1,202,248
	資産の合計	1,134,625,818	1,067,043,497	▲ 67,582,321	965,273,990	▲ 101,769,507
	貸方（科目）	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	流動負債	13,082,955	27,412,793	14,329,838	17,225,119	▲ 10,187,674
	うち 短期借入金	0	0	0	0	0
	固定負債	0	0	0	0	0
	うち 長期借入金	0	0	0	0	0
	負債合計	13,082,955	27,412,793	14,329,838	17,225,119	▲ 10,187,674
	正味財産	1,121,542,863	1,039,630,704	▲ 81,912,159	948,048,871	▲ 91,581,833
	指定正味財産	1,031,958,700	952,498,100	▲ 79,460,600	865,158,300	▲ 87,339,800
	うち 基本財産への充当額	1,031,958,700	952,498,100	▲ 79,460,600	865,158,300	▲ 87,339,800
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
	一般正味財産	89,584,163	87,132,604	▲ 2,451,559	82,890,571	▲ 4,242,033
	うち 基本財産への充当額	0	0	0	0	0
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
	負債・正味財産の合計	1,134,625,818	1,067,043,497	▲ 67,582,321	965,273,990	▲ 101,769,507

正味財産増減計算書	科目	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	▲ 482,888	▲ 2,451,559	▲ 1,968,671	▲ 4,242,033	▲ 1,790,474
	経常増減の部	▲ 307,826	▲ 2,379,559	▲ 2,071,733	▲ 4,170,033	▲ 1,790,474
	経常収益	134,053,465	181,086,589	47,033,124	222,496,705	41,410,116
	経常費用	134,361,291	187,359,748	52,998,457	226,862,738	39,502,990
	評価損益等計	0	3,893,600	3,893,600	196,000	▲ 3,697,600
	経常外増減の部	▲ 175,062	▲ 72,000	103,062	▲ 72,000	0
	経常外収益	0	0	0	0	0
	経常外費用	175,062	72,000	▲ 103,062	72,000	0
	一般正味財産期首残高	90,067,051	89,584,163	▲ 482,888	87,132,604	▲ 2,451,559
	一般正味財産期末残高	89,584,163	87,132,604	▲ 2,451,559	82,890,571	▲ 4,242,033
	指定正味財産増減の部	▲ 31,161,600	▲ 79,460,600	▲ 48,299,000	▲ 87,339,800	▲ 7,879,200
	指定正味財産増減額	▲ 31,161,600	▲ 79,460,600	▲ 48,299,000	▲ 87,339,800	▲ 7,879,200
	指定正味財産期首残高	1,063,120,300	1,031,958,700	▲ 31,161,600	952,498,100	▲ 79,460,600
	指定正味財産期末残高	1,031,958,700	952,498,100	▲ 79,460,600	865,158,300	▲ 87,339,800
	正味財産期末残高	1,121,542,863	1,039,630,704	▲ 81,912,159	948,048,871	▲ 91,581,833

（※）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

区分		令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
キャッシュ・フロー計算書（C/S）	事業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 15,367,095	▲ 41,336,537	▲ 25,969,442	▲ 31,790,199	9,546,338
	当期一般正味財産増減額	▲ 410,888	▲ 2,379,559	▲ 1,968,671	▲ 4,170,033	▲ 1,790,474
	キャッシュフローへの調整額	16,205,393	28,885,622	12,680,229	57,999,634	29,114,012
	指定正味財産増加収入	▲ 31,161,600	▲ 67,842,600	▲ 36,681,000	▲ 85,619,800	▲ 17,777,200
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	16,110,547	51,800,431	35,689,884	▲ 539,290	▲ 52,339,721
	投資活動収入	16,130,997	893,476,643	877,345,646	1,082,427,286	188,950,643
	投資活動支出	▲ 20,450	▲ 841,676,212	▲ 841,655,762	▲ 1,082,966,576	▲ 241,290,364
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
	現金及び現金同等物の増減額	743,452	10,463,894	9,720,442	▲ 32,329,489	▲ 42,793,383
	現金及び現金同等物期首残高	95,551,174	96,294,626	743,452	106,758,520	10,463,894
	現金及び現金同等物期末残高	96,294,626	106,758,520	10,463,894	74,429,031	▲ 32,329,489

（※1）支出は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分		令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）		0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）		0	0	0	0	0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）		0	0	0	0	0
委託料及び指定管理料		40,000,000	40,000,000	0	40,000,000	0
借入金（期末残高）		0	0	0	0	0
短期借入金				0		0
長期借入金				0		0
出資・出捐（期末時）		500,000,000	500,000,000	0	500,000,000	0
債務保証額（期末残高）				0		0
損失補償額（期末残高）				0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）				0		0
				0		0
				0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

令和7年度の資産合計は965,274千円となり、前年度と比較して101,770千円減少しています。主な要因は、現金・預金を含む流動資産の減少に加え、基本財産の減少により固定資産が減少したことによるものです。	
負債合計は17,225千円となり、前年度と比較して10,188千円減少しております。これは、前年度のリニューアルオープンに伴い増加していた未払金等の支出経費について、令和7年度に支払が進んだことによるものと考えられます。	
投資有価証券は、金利上昇等の影響により期末時価評価額が減少し、正味財産合計額も減少しています。	

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
流動資産	現金預金	32,329,489円の減	リニューアル工事完了後、通常営業へと移行したことに伴い、各種事業活動において資金流出が生じたことによる減
固定資産	投資有価証券	87,339,800円の減	期末時価評価額の減等

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

通年開館により指定管理料や入館料などが増加しましたが、それに伴い維持管理費等も増加しております。	
令和7年度の経常収益は222,497千円となり、前年度と比較して41,410千円増加した一方、経常費用は226,863千円となり、前年度と比較して39,503千円増加しております。この結果、経常増減額は▲4,170千円となり、前年度と比較して1,790千円減少となりました。	
以上のことから、引き続き事業収支及び保有資産の評価額の動向を注視する必要があると考えられます。	

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
経常収益	事業収益	28,162,467円の増	指定管理料・入館料の増
	国庫補助金	13,517,421円の増	文部科学省補助金の補助採択による増
経常費用	委託費	18,789,099円の増	施設整備業務の増

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

投資有価証券は、金利上昇等の影響により国債等の期末時価評価額が減少しています。
当該評価額の減少は直ちに現金流出を伴うものではありませんが、法人の基本財産及び正味財産の減少要因となっていることから、今後も金利動向等を注視し、保有資産の状況を適切に把握する必要があります。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
事業活動によるキャッシュフロー	基本財産増加収入	17,777,200円の減	期末時価評価額の減少額の増加

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
指定管理料	40,000,000	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営費

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

担当部署名：産業部観光政策課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（１）中間的な経営目的・事業計画

目標には未達であるが、リニューアルオープン１周年記念イベントや各種企画展等の積極的な実施により、昨年度と比較し来館者数が大幅に増加していることから、今後さらなる来館者数の増加に向けた企画展等を充実させるとともに、旅行業者等との連携による集客力の強化を図られたい。

（２）主要事業の成果、課題

サン・ファン祭りは昨年度同様、約12,000人の入込みがあり、各種パークイベントや絵画展、映画作品にて使用された衣装や小道具等の展示の開催、全国の小中学生を参加対象とした絵画コンクールを継続実施し、施設PRや慶長遣欧使節文化の継承、啓発へ寄与したものと思われる。

また、多言語化への対応等を実施し、インバウンドに対応した施設の充実が図られたことから、今後は海外に向けての情報発信をさらに強化されたい。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（１）貸借対照表

正味財産比率は98.2%、流動比率は536.6%、固定比率は92.0%と、いずれの指標も良好な水準となっていることから、財産基盤の安全性についても問題ないと言える。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

リニューアルオープンに伴い、通年開館の実施による入館者数の増加による入館料、各種事業の積極的な開催に伴う収入等が増加したことから、今後も、さらなる来場者増加に向けた取組に力を入れていただきたい。

また、総資産経常利益率は-0.4%と軽微なマイナスであるが、正味財産比率や流動比率が良好な水準にあることから、財務基盤の安定性及び短期的な支払能力に大きな問題はないものと認められる。

(3) キャッシュフロー計算書

令和7年度は、本業である事業活動によるキャッシュ・フローが大きくマイナスとなっており、投資活動による資金流入はあったものの、結果として現金及び現金同等物は減少している。

また、金利上昇等の影響により投資有価証券等の評価額も減少していることから、令和8年度においては、事業活動による安定的な資金確保に向け、より一層、効率的な事業運営及び収支改善に努められたい。

(4) 市による財政・金融支援等

石巻市サン・ファン・バウティスタパーク指定管理料として支出している金額であるが、適正価格であるかどうかの是非検討も含め、適正かつ効果的・効率的な運営に努められるよう、指定管理者と協議を密に行い、引き続き共同して施設の活用、運営指導を行っていききたい。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事跡並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供し、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する目的を果たす上においても、市民が参加しやすい企画・イベント等の創意工夫を重ね、ひいては入館者数の増加につながるよう期待したい。

また、慶長使節船ミュージアムのリニューアルに伴い、海外との交流を行っていた歴史的背景を後世に伝え続ける意味でも、市民、国内のみならずインバウンド観光客向けのハード面・ソフト面での充実を図り、交流人口の拡大に寄与することを期待する。

さらに、体験コンテンツ等の開発により観光施設のみならず、併せ持つ学習施設としての側面を最大限に活用することにも期待し、市街地と半島部の中間点に位置している視点からも、地域の拠点施設となるよう、運営体制の強化にも期待する。